

平成28年度 雲南広域連合当初予算の概要

一般会計

当初予算は1,237,428千円です。主なものとして、地域振興に係る経費（企画費）と消防費があります。

【歳入】 主なものとして構成市町負担金1,204,934千円があります。

【歳出】

○企画費(17,641千円)の主な使いみち

・企画事業管理費……………10,244千円

【雲南地域の観光に向けた取り組み】

うんなん観光ネットワーク協会を中心とした観光情報の発信・観光客の誘致を図っていきます。

・イメージづくり事業……………4,024千円

【各種媒体の活用】

広島市において情報誌や広告、観光マップの作成など様々な媒体を活用し、雲南地域の情報を発信していきます。

【島根ふるさとフェア】

広島市で開催するこのフェアで雲南地域の魅力を発信するブースを設け、雲南地域PRコーナーなど観光情報発信のためのブース運営を行います。

○消防費(988,913千円)の主な使いみち

・常備消防費……………978,630千円

【職員人件費】

職員給与、手当、共済費等です。

【火災・救急・救助出動等への対応】

燃料・消耗品・資機材等の整備、緊急車両年間整備費等の諸経費です。

・消防施設費……………10,283千円

【防災支援車整備事業】

平成6年に整備した、雲南消防本部に配備している防災支援車は22年を経過し老朽化しているため、車両更新計画に基づき更新をするものです。

【島根県防災情報ネットワークシステム再整備事業】

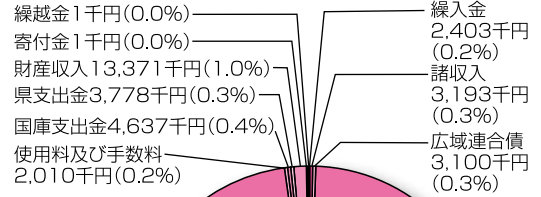
島根県が地域防災計画に基づき災害発生時の情報通信体制確立のため昭和50年に運用を開始し平成9・10年で更新した県庁、市町村及び消防本部等を結ぶ関係機関専用の地上系及び衛星系通信施設を更新・整備する事業に伴う消防本部の負担金です。

【可搬ポンプ整備事業】

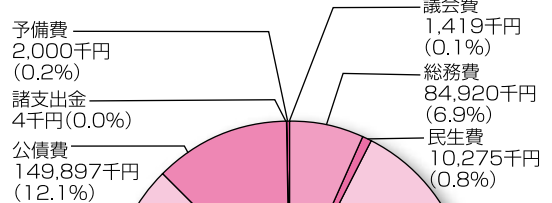
飯南消防署に配備している可搬ポンプが22年を経過し老朽化したため、車両更新計画に基づく更新並びにポンプ車の改造をするものです。

平成28年度一般会計予算

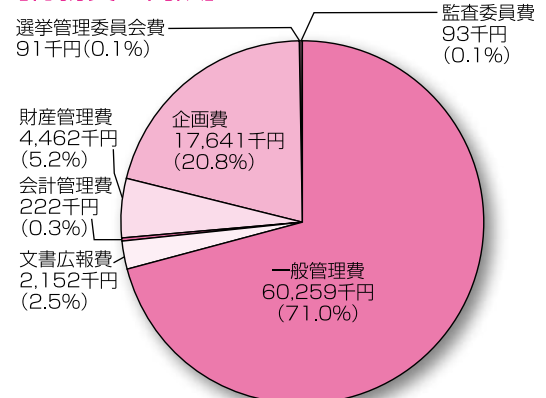
【歳入】



【歳出】



【総務費の内訳】



介護保険特別会計

当初予算額は7,605,561千円で、前年度当初予算と比べて107,224千円(対前年度比約1.4%)の減額となりました。

○主な使いみち

・保険給付費……………7,165,813千円

要介護(支援)認定者が介護保険サービスを利用したときにかかる費用のうち、本人が負担する部分(1割または2割)を除いた費用部分(9割または8割)のことで、雲南広域連合が負担する費用です。

・地域支援事業費……………251,496千円

地域支援事業を実施するための費用です。

・総務管理費……………139,827千円

介護システムの維持管理にかかる費用や人件費などの費用です。

・徴収費……………3,748千円

介護保険料の賦課徴収や滞納処分を行うための費用です。

・介護認定審査会費……………39,386千円

認定調査、主治医意見書作成、認定審査会実施のための費用です。

・事業計画審議会……………2,664千円

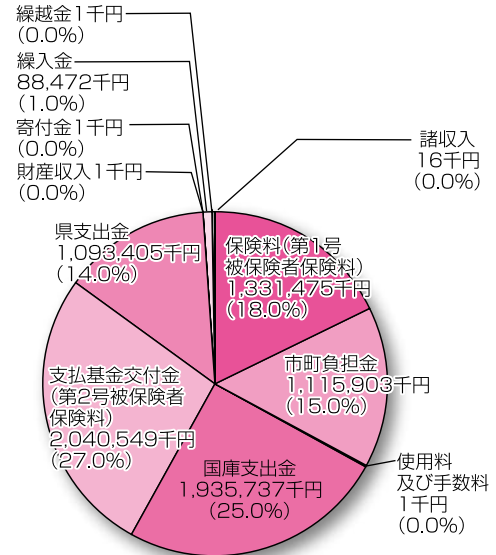
第7期事業計画策定のためのニーズ調査や審議会実施のための費用です。

・趣旨普及費……………243千円

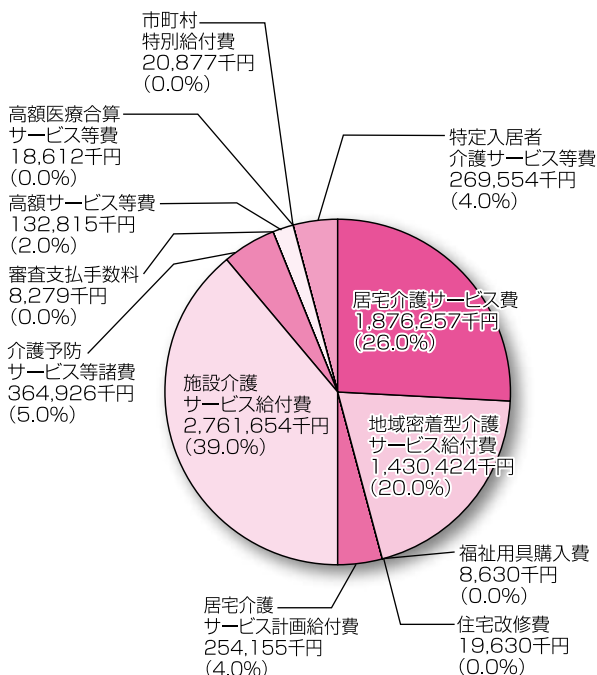
介護保険制度の仕組みやサービスの利用促進などを広報等でお知らせするための費用です。

平成28年度介護保険特別会計予算

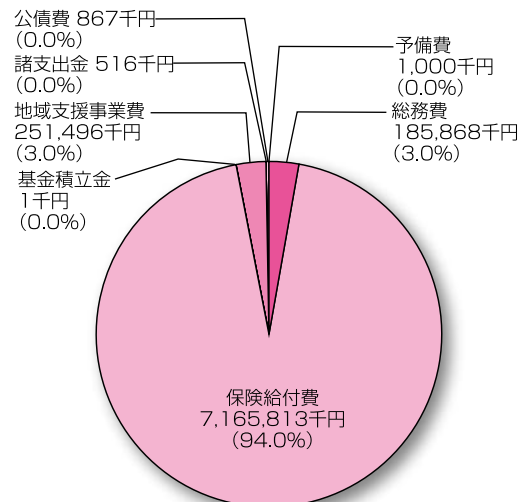
[歳入]



[保険給付費の内訳]



[歳出]



環境衛生特別会計

当初予算額は、121,700千円で、前年度当初予算額と比べて、20,021千円(△14.1%)の減額となりました。

○主な使いみち

一般管理費

雲南クリーンセンター施設の維持管理費、職員の人件費です。

し尿処理費

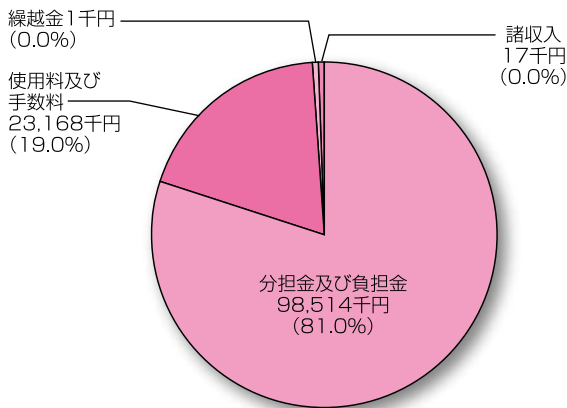
雲南地域から搬入されるし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を処理する費用です。

公債費

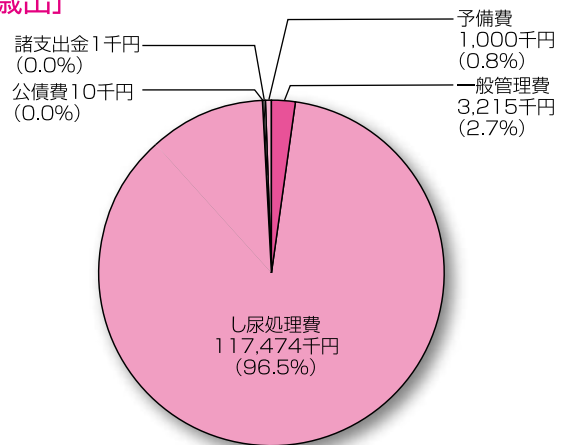
借入金の返済金及び利子です。

平成28年度環境衛生特別会計予算

[歳入]



[歳出]



下水道事業特別会計

当初予算額は、1,188,700千円で、前年度当初予算額と比べて、392,509千円(49.3%)の増額となりました。

○主な使いみち

汚泥共同処理施設整備事業費

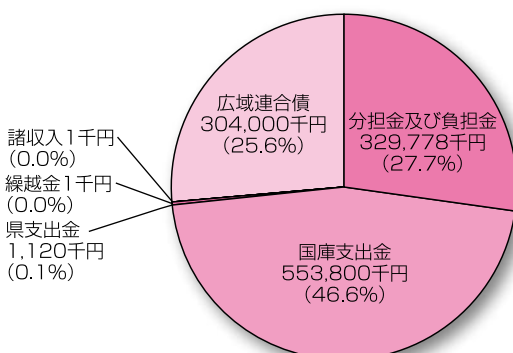
雲南地域のし尿、下水道汚泥をまとめて処理する汚泥共同処理施設を新たに整備する費用です。

公債費

前年度に借り入れた地方債の利子分

平成28年度下水道事業特別会計予算

[歳入]



[歳出]

